

夢追い人

水廻りの技術を活かし、新たな挑戦へ

株式会社タカダ

代表取締役 高田 忠宜 さん

住所 〒831-0004

大川市榎津3011

TEL...0944-8615299

FAX...0944-8615309

今回の夢追い人は、株式会社タカダ 代表取締役の高田忠宜さんにお話を伺いました。2005年にタカダ・エコーランニングを創業、2014年に(株)タカダとして法人

化し、管工事業・給排水設備工事と水廻りを中心としたリフォーム業を行っています。

「設備工事とは、住宅・ビル・商業施設などの建物の上下水道設備・換気空調設備・消防設備等の設備を整える仕事のことです。開業当初は、住宅設備が多かったのですが、現在は主に食品工場や歯科院、クリニック、商業施設といった非住宅施設の機械設備工事を多く手掛けています。水廻りを中心に、豊かで快適な生活文化を築き、地域の人々から信頼され社会の発展に貢献する企業を目指しています。」

非住宅施設の給排水設備工事を多く手掛けている(株)タカダ。7割は給排水設備業ですが、リフォーム業にも力をいれているそうです。

「うちはTOTOのリモデルクラブ店にも加盟しているんです。リモデルクラブ店というのは、地域密着型のリフォーム店として、住まいづくりの提案力や施工体制を評価いただいた加盟店制度です。水廻り商品をはじめ、建材や窓廻りなど幅広い商材の中から、お客様のご要望やライフスタイルに合わせた最適なプランをご提案します。単に修理を行うだけでなく、リフォームプランのご提案から施工、設備の修理、そしてアフターサービスまで、長くお付き合いいただける。リフォームのパートナーとして、お客様をサポートしていきたいと考えています。また、昨年はリフォーム作品コンテストにてキッチン部門全国3位を受賞しました。定期的に展示場でのイベントも開催しているので、ゼ



集合写真





施工の様子



2024TOTO リモデルコンテスト奨励賞

ひ輕輕に足を運んでいただけ
たらうれしいですね。実際に
製品を見て触れて、相談の機
会になっていきますので、お住
まいのことで気になることが

あればぜひご相談ください。」

給排水設備工事やリフォーム
のお仕事をする上で、どの
ような資格や技術が必要にな
るのでしようか？

「管、土木施工管理技士や配
管技能士、給水装置工事主任
技術者、排水設備工事責任技
術者などの資格を保有してい
ますし、リフォーム分野では
増改築相談員、石綿作業主任
者などの資格も取得していま
す。この仕事は、常に学ぶ姿
勢が大事だと思っています。
資格を取って終わりではなく
て、新しい知識や制度を学び
続けることが大切ですね。上
下水道工事は資格を持つてい
るだけでは、どこの市でも工
事ができるわけではないんで
すよ。各市で指定工事店とし
て登録が必要なんです。しか
も、市によって図面の書き方
や提出用紙が違うので、その
対応がなかなか大変なんです。
CADオペレーターが3人在
籍していますので、図面作成
はCADを使って丁寧に仕上
げてられています。しっかり
支えてもらっていて、本当に
心強い存在です。あと、打ち
合わせの議事録は必ず作成し
ています。毎回同じ担当者さ

んとは限りませんし、金額や
納期などの認識にズレが出る
こともあります。口頭だけで
とリスクがありますので、き
ちんと文書に残してお互いに
確認できるようにしています。
こうした一つひとつを大事に
しながら、信頼していただい
ける仕事を続けていきたいで
す。」

独立当初と現在で、経営に
対する考え方に変化はありま
したか？

「独立後は、自分が先頭に立ち、
現場でも事務作業でも昼夜間
わらず、仕事に向き合いながら
事業を引っ張ってきました。
ただ、これからはそれだけで
はいけないと感じています。
会社が持続的に成長していく
ためには、自分も含め従業員
みんなで力を合わせる体制づ
くりが不可欠です。そのため
に、人を育てるために自分が
学ぶ」という意識で、人事や
組織づくりも勉強しています。
今後は外部コンサルタンの
活用も視野に入れ、第三者の
視点を取り入れながら自分一
人では引く張るのではなく、
全員で成長できる会社を目指
していきたくと考えています。
独立と同時に大川JICに所属

し、多くの方とのご縁があり
ました。出向を通じて他団体
や地域の方々と交流する中で、
様々な考え方を学ばせてもら
いました。仕事に直結するこ
とばかりではありませんが、
人との出会いとネットワーク
があったからこそ、今の自分
と会社があると思っています。」

高田さんが事業を行う上で、
大切にしていることや心掛け
ていることはありますか？

「あまり人が取り組まないこ
とに率先して取り組み、それ
を仕事につなげていくことを
大切にしています。もちろん、
お客様に喜んでもらうことが
第一で、そのためにどう行動
すべきかを常に考えています。
そうした姿勢こそ、自分の役
割や価値が発揮される場だと
思っています。また、常に『常
在戦場』という言葉を中心に留
めていて、どんな状況でも気
を抜かず、緊張感を持って仕
事に取り組みようとしています。』

高田さんの夢や、会社の今
後の展開について教えてください。

「現在、大川では得意とする
食品工場や施設の建設が少な

く、大川市外での工事が多く
なっています。これからは地
元大川やその近郊の施工もど
んどん増やしていきたいです
ね。リフォームの仕事など地
域の方々の為に喜んでもらえ
る仕事を受注していきたいと
思っています。また、衣・食・
住それぞれの分野で事業を展
開できたらいいなと思っています。
今までは自分は建設業、
つまり、住の分野だけをやって
きました。水を浄化したり
コンロの掃除する技術があり
水廻りのノウハウがあるので、
そこを中心にしながら色々な
事業に挑戦していきたいと考
えています。例えば、水耕栽
培のような異業種へのチャレ
ンジもその一つで、食の分
野に広がっていくイメージです。
もちろん、事業分野を増やす
ことでリスクやデメリットも
あるかもしれませんが挑戦し
ていきたいと思っています。
今後は大川での仕事・雇用に
増やしながら、この地域に無
くてはならない会社にしてい
きたいですね。」

最後に個人的な夢は、20年
後に向けて、お金を貯めて船
を買い、携帯電話の電波の届
かない所で長く旅行すること
です・・・」